

事務事業評価表（令和4年度の実績評価）

事務事業名		国営造成施設管理体制整備促進事業支援事業				事業区分		担当	
政策体系上の位置付け						新規/継続	継続	事務事業No.	040102000848
						単独/補助	補助		
政策体系	総合計画の施策名	0401	農林業の振興					課長名	
	政策名	04	活力ある産業のまちづくり						
	施策名	01	農林業の振興					グループ	農林G
	手段名	02	②農業の効率化推進					担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	06	01	05	05	00	霞ヶ浦用水事業		
法令根拠	土地改良法・国営造成施設管理体制整備促進事業実施要綱					➡ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入			

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要（事務事業の全体像） ・農業用水利施設の多面的機能発揮及び管理適正化を支援するため、国営造成施設等を維持管理する土地改良区が体制整備促進事業に要する経費対し、予算の範囲内において土地改良区へ補助金を交付する事業。 ・令和3年度より水利施設管理強化事業に変更。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ①補助金申請・交付業務 ②遂行状況報告審査（桜川市土地改良区報告書審査） ③実績報告（桜川市土地改良区報告書審査・県担当課検査受検） ④伝票等作成

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	03年度 （実績）	04年度 （実績）	05年度 （計画）	06年度 （目標）	07年度 （目標）
・県や土地改良区との連絡調整及び補助事業の実施主体としての補助申請業務。平成26年度より対象様式をExcelファイルにて一括管理することとした。	補助金交付	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	遂行状況の報告	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	実績報告	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	03年度 （実績）	04年度 （実績）	05年度 （計画）	06年度 （目標）	07年度 （目標）
国営造成施設管理体制机制整備促進事業を行う 桜川市土地改良区	桜川市土地改良区組合員数	人	3,723.00	3,752.00	3,752.00	3,752.00	3,752.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	03年度 （実績）	04年度 （実績）	05年度 （計画）	06年度 （目標）	07年度 （目標）
農業用水利施設の多面的機能の発揮及び管理の適正化を支援する。	補助金交付額	千円	11,250.00	11,250.00	12,750.00	13,500.00	13,500.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	5,625	5,625	6,375		
			県支出金	千円	2,250	2,250	2,350		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	3,375	3,375	4,025		
			事業費計（A）	千円	11,250	11,250	12,750		
		正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人			

04年度事業費 実績 (千円)				05年度事業費 予算 (千円)			
18 負担金補助及び交付金	11,250			18 負担金補助及び交付金	12,750		
		合 計	11,250			合 計	12,750

(4) 当該年度の実施内容	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	①補助金申請・交付業務 ②遂行状況報告審査（桜川市土地改良区報告書審査） ③実績報告（桜川市土地改良区報告書審査・県担当課検査受検） ④伝票等作成	①補助金申請・交付業務 ②遂行状況報告審査（桜川市土地改良区報告書審査） ③実績報告（桜川市土地改良区報告書審査・県担当課検査受検） ④伝票等作成	①補助金申請・交付業務 ②遂行状況報告審査（桜川市土地改良区報告書審査） ③実績報告（桜川市土地改良区報告書審査・県担当課検査受検） ④伝票等作成

事務事業名	国営造成施設管理体制整備促進事業支援事業	事務事業No.	40102000848	所属課	農林課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成17年度より事業が開始され、農業基盤整備を通して、農業用施設の多面的機能の発揮及び管理の適正化を図っている。4区の土地改良区が合併し、対象地域が拡大したことにより平成26年度は補助金が増額された。平成30年度予算要求時、改良区担当より電気料金のみを主としたものにしたこととで10,500,000円での要望となった。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
本事業では、対象機場の電気料等を計上することができるため、電気料高騰もあり一定の感謝の声がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	☒ 結びついている 農業基盤の整備・農業経営の安定化が図れている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	☒ 妥当である 土地改良事業については公共性が高いため妥当である。
有 効 性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	☒ 向上余地がない 市の負担すべき補助金額は茨城県知事が決定した額に左右されるため。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	☒ 影響有 土地改良関係の各種事業を効果的に実施することが困難になる。
効 率 性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名)
	☒ 余地がない 農業水利施設に対しこの事業と同率程度(事業費のうち50%を国、20%を県)の類似事業はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	☒ 削減余地がない 事業を効果的に実施することが困難になる。
公 平 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	☒ 公正・公平である 受益者負担の適正が図られている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇨	事務の円滑化に努める。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		(複数回答可) ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成 果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成 果	向上維持		○		低下			
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成 果	向上維持		○																	
	低下																			
		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果	⑥																	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価		確認欄	
☒ A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 ☐ B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		☐	